

MySQL 5.1.63 リリースノート（日本語翻訳）

修正されたバグ

- **セキュリティ修正:** Bug #64884 が修正された。
- **セキュリティ修正:** Bug #59387 が修正された。
- **重要な変更: パーティショニング:** クエリキャッシュが、トランザクションコンテキストでパーティショントーブルに対して正しく機能しない場合があった。このため、パーティショントーブルを使用するクエリに対しては現在クエリキャッシュが無効化されており、該当するクエリはキャッシュされない。詳細については、[18.5 項「Restrictions and Limitations on Partitioning」](#)を参照（Bug #11761296、Bug #53775）。
- **InnoDB:** InnoDB テーブルから短時間で大量のデータを削除すると、削除されてマークされたレコードを削除する [ページ](#)操作が停止する可能性があった。この問題によりディスクスペースが無駄に消費される可能性はあったが、データ整合性に問題は発生しない。この問題のためにディスクスペースが不足する場合は、サーバを再起動して回避する。この問題が起きる可能性があるのは 32 ビットプラットフォームのみである（Bug #13847885）。
- **InnoDB:** InnoDB テーブルに対する [TRUNCATE TABLE](#) または [CREATE INDEX](#) ステートメント、あるいは InnoDB テーブルを含むデータベースに対する [DROP DATABASE](#) ステートメントの実行中にサーバがクラッシュすると、インデックスが破損する可能性があり、再起動後にそのテーブルにアクセスした際に次のエラーメッセージが表示された。

```
InnoDB: Error: trying to load index index_name for table table_name
InnoDB: but the index tree has been freed!
```

MySQL 5.1 では、この修正は InnoDB プラグインに適用されるが、組み込みの InnoDB ストレージエンジンには適用されない（Bug #12861864、Bug #11766019）。

- **InnoDB:** InnoDB テーブルからデータを削除する際、新しく挿入したデータが解放後のディスクブロックを再利用せず、システムのテーブルスペースまたは `.ibd` ファイル ([innodb file per table](#) の設定により異なる) が予期しないサイズまで増

大する可能性があった。[OPTIMIZE TABLE](#) は、場合によって `.ibd` ファイルを圧縮するが、それ以外はしない。解放されたディスクブロックは、追加のデータが挿入された時点で最終的に再利用される (Bug #11766634、Bug #59783)。

- **レプリケーション:** `--relay-log-space-limit` オプションが無視されることがあった。

具体的に言うと、SQL スレッドがスリープするとき、I/O スレッドはイベントをさらにキューに追加できるため、リレーログのスペース制限がバイパスされることがあった。またキューのイベント数が多くなってリレーログのローテーションが必要な段階を超えてしまう可能性があった。現在ではこのような場合、SQL スレッドは I/O スレッドのローテーションが必要かどうかをチェックし、SQL スレッドがログをページできる (したがってスペースを解放する) ようになっている。

ただし、SQL スレッドがトランザクションを実行中の場合はログをページできず、トランザクションが完了するまで追加のイベントを要求できるだけである。トランザクションが完了すると、SQL スレッドはただちに I/O スレッドのローテーションを命令できる (Bug #12400313、Bug #64503)。

参考: Bug #13806492 も参照。

- スレーブサーバ上のストアードプロシージャ内で SQL の [NO BACKSLASH ESCAPES](#) モードが誤って処理され、レプリケーションに失敗する可能性があった (Bug #12601974)。
- クエリの実行中にシステム時間が逆方向に調整された場合、見かけの実行時間が負になる可能性があったが、場合によってはこのようなクエリが低速クエリログに書き込まれ、負の実行時間が符号なしの大きい値として書き込まれていた。現在、見かけの実行時間が負になるステートメントは低速クエリログに書き込まれない (Bug #63524、Bug #13454045)。

参考: Bug #27208 も参照。

- [mysql_store_result\(\)](#) と [mysql_use_result\(\)](#) は、プリペアドステートメントでは使用されず、[mysql_stmt_execute\(\)](#) に続いて呼び出されることは想定されて

いないが、`libmysqld` でそのように呼び出された場合でもエラーを返さなかった (Bug #62136、Bug #13738989)。

参考: Bug #47485 も参照。

- `SHOW` ステートメントがストアードプロシージャ名、ストアードファンクション名、およびイベント名を処理する際に、大文字小文字が区別されていた (Bug #56224、Bug #11763507)。

Windows で共有メモリを使用した接続を試行すると、`mysqlslap` がクラッシュした (Bug #31173、Bug #11747181、Bug #59107、Bug #11766072)。

※本翻訳は、理解のための便宜的な訳文として、オラクルが著作権等を保有する英語原文を NRI の責任において翻訳したものであり、変更情報の正本は英語文です。また、翻訳に誤訳等があったとしても、オラクルには一切の責任はありません。